

事業計画書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

<基本方針>

前期までと同様、公的支援の安全網から構造的に漏れ出てしまい孤立しがちな子育て家庭及び、公的支援を受けていたとしても、その支援が十分に届かず家庭内で困難な状況に置かれている子ども達を支援する事業を継続する。

<事業の構成>

◇公益目的事業

1. 食事・食材・食品の提供事業
 - (1) 子育て応援食堂の運営
 - (2) 食材・食品の宅配
2. 保護者相談事業
 - (1) 子育て困窮家庭の保護者からの相談を受け助言等を行う
3. 学習支援事業
 - (1) 小・中学校基礎補習
 - (2) 高校・大学受験指導

◇収益事業

該当なし

<事業内容>

1. 食事・食材・食品の提供事業

(1) 子育て応援食堂の運営

－ 1 桜台子育て応援食堂

① 目的

経済的理由その他により、適切な食事そして食事の場のない一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般に、無料で暖かい食事そして食事の場を提供する。

② 対象

東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般

③ 利用予定人数

1回120人程度

④ 回数

1か月2回程度（コロナ禍につき一時休止中）

⑤ 場所

東京都練馬区桜台（6月から豊玉北）（当法人本部近傍の民間集会施設借用）

⑥ 募集方法

チラシ、ホームページ、看板、口コミ、福祉事務所・子ども家庭支援センター・保健センター等行政諸機関からの紹介者、民生委員・児童委員からの紹介者

⑦ 利用者決定方法

全員を受け入れる

－2 学習支援と併せた食事支援

① 目的

家庭内に学習環境が無く、他の教育施設でも成果が挙がり難い子ども達に適切な学びの場を提供するのに併せ、無料で暖かい食事そして食事の場を提供する。

② 対象

東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般

③ 利用予定人数

1回5～8人程度

④ 回数

月曜日から土曜日の週6日（コロナ禍につき一時休止中）

⑤ 場所

東京都練馬区桜台（6月から豊玉北）（当法人本部内）

⑥ 募集方法

チラシ、ホームページ、看板、口コミ、福祉事務所・子ども家庭支援センター・保健センター等行政諸機関からの紹介者、民生委員・児童委員からの紹介者

⑦ 利用者決定方法

全員を受け入れる

(2) 食材・食品の宅配（パントリー含む）

① 目的

経済的理由その他により、十分な食材を得ることのできない一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般に、無料で重量にして約8～15キロ程度の生鮮野菜・果物・米類・調味料・菓子類・飲料等を週1回程度の頻度で、自社団所有の自動車を使用し宅配する。

② 対象

東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般

③ 利用予定人数

1回350人

④ 回数

- 週 1～2回程度
- ⑤ 募集方法
前記子育て応援食堂の参加者及び学習支援事業への参加者に告知する
- ⑥ 利用者決定方法
全員を受け入れる

2. 保護者相談事業

(1) 子育て困窮家庭の保護者からの相談を受け助言等を行う

- ① 目的
外部からは見え難い相対的貧困状況にある困窮子育て家庭（その予備軍家庭を含む）と信頼関係を構築し、喫緊の支援ニーズをさぐり、これに物心両面で具体的に応えることを目的とする
- ② 対象
東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般
- ③ 利用予定人数
1回1人
- ④ 回数
随時（コロナ禍につき一時休止中）
- ⑤ 場所
東京都練馬区桜台（6月から豊玉北）（当法人本部内）で個人情報に配慮した場所
- ⑥ 募集方法
チラシ、ホームページ、看板、口コミ、福祉事務所・子ども家庭支援センター・保健センター等行政諸機関からの紹介者、民生委員・児童委員からの紹介者そして前記子育て応援食堂の参加者及び学習支援事業への参加者に告知する
- ⑦ 利用者決定方法
全員を受け入れる

3. 学習支援事業

(1) 小・中学校基礎補習

- ① 目的
身の回りにロールモデルとすべき存在がおらず、メンターとなる人材もいない子どもたちを対象に、学習への興味喚起・毎日の学習習慣作り・科目ごとの予習復習の在り方等の相談にのる。一人一人の子が勉強に躊躇した所まで遡って学習支援する事により、深い理解による自然な体得を目指す。
- ② 対象
東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般
- ③ 利用予定人数
1回5～8人程度

- ④ 回数
月曜日から土曜日の週 6 日（コロナ禍につき一時休止中）
- ⑤ 場所
東京都練馬区桜台（6 月から豊玉北）（当法人本部内）
- ⑥ 募集方法
チラシ、ホームページ、看板、口コミ、福祉事務所・子ども家庭支援センター・保健センター等行政諸機関からの紹介者、民生委員・児童委員からの紹介者
- ⑦ 利用者決定方法
全員を受け入れる

（2）高校・大学受験指導

- ① 目的
何の為に勉強し進学するのか、自分の好きな事・得意な事を伸ばして勉強して行くとどのような人生が拓ける可能性が有るのかと言う動機付けを行う。中三生と高三生には志望校選択にも助言しつつ、要望に応じて受験準備に特化した学習支援を行う。
- ② 対象
東京都練馬区及びその周辺に居住する一人親家庭・障害者及び疾病者家庭・孤食児童家庭、その他支援が必要な困窮子育て家庭全般
- ③ 利用予定人数
1回 5～8人程度
- ④ 回数
月曜日から土曜日の週 6 日（コロナ禍につきオンラインにて限定実施中）
- ⑤ 場所
東京都練馬区桜台（6 月から豊玉北）（当法人本部内）
- ⑥ 募集方法
チラシ、ホームページ、看板、口コミ、福祉事務所・子ども家庭支援センター・保健センター等行政諸機関からの紹介者、民生委員・児童委員からの紹介者
- ⑦ 利用者決定方法
全員を受け入れる

<管理運営方針>

- ・2023年度には、みてね基金三年間の投資フェーズを完了し、練馬区豊玉北の新拠点において、投資資産（倍増する備蓄能力、一次加工専用室、2トン冷凍冷蔵トラック、顧客システム等）の安定稼働を実現し、当社団ならではの支援サービスの開発進化に努める事を基本方針とする。数的な成長は二義的と位置付け、支援サービスの量より質的な改善・成長に注力したい。

具体的には、

- ・農家直接調達による青果品調達の拡充
- ・冷蔵室冷凍室を活用した、短期大量寄贈の引き受け
- ・利用者属性データに基づく、最困窮家庭への高次支援の提供
 - ー小分けパック野菜のミールキット化、レシピ情報の提供
 - ー新しい惣菜寄贈品を利用した新支援サービスの導入
 - ー親子料理教室、農家での親子収穫体験の実施
 - ー生きる力を身に着ける食育プログラムの開発開始
- ・地道なコスト削減による経常運営費用の削減第一ステップ

基本方針に加えて、2024年度以降の安定運営に向けた準備ステップを合わせて実施する

- ・資金調達の多様化に向けた新しい資金調達先・調達方法の確保
- ・三大支出費目である、食材購入費・家賃・人件費の削減
- ・一層の地域深耕（顔の見える近距離利用者の優先と、遠距離宅配事業からの段階的退出）
- ・事務局ワークフローの合理化とスタッフの拡充
- ・移転先教会・地域での新規ボランティア獲得に注力する。社会福祉協議会との連携も検討する。

○事業活動に関して：

- ・基本的に前期から、事業の柱となる諸活動に変更はないが、6月以降の拠点移転に伴い事業活動の内容、形態が改善される可能性がある。新型コロナの5類への移行がなされたとしても、直ちに再開できない活動もあることが予想される。現在の成長ペースを維持しつつ、活動地域における根を一層深めて行く事を、ボランティア募集・必要な告知活動の地道な継続により実現する。
- ・子育て家庭の困窮度には、大きなバラツキがあり、緊急性の高いケースと比較的安定した経済状況の子育て家庭の間には大きな格差が存在する。
- ・利用者の継続利用率が高く、緊急性の高い子育て家庭をいつでも受け入れられるようにするためには、一定の公平なルールのもとに、卒業できるプログラムの創出と、他団体との提携による自立支援プログラムとの連動が重要ではないか。
 - ・現在のフルサービスには数的限界が訪れつつあり、本当に困っている子育て家庭の、本当に困っている期間を支えていくためには、その時期その状況を乗り切った子育て家庭への支援を質量共に継続維持する必要があり、パントリー事業を段階的に拡大し、注力していく方向となるであろう。

○経費支出に関して：

- ・事業費関連
 - －経費に関する費目は、拠点変更による変化を加味して予算値とした。
- ・管理費関連
 - －家賃・水光熱費等事業費との共通費目に関しても同様。
- ・事業費・管理費共通
 - －新拠点に対する資本的支出の金額が大きくなっている。財源はみてね基金と寄附金で賄える範囲に収まっている。

○その他：

- ・公益社団法人として、収支相償を第一に、正味資産となる固定資産の充実に努める。

収支予算書
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	10,000	△ 10,000
受取入会金	0	10,000	△ 10,000
受取会費	36,000	42,000	△ 6,000
正会員受取会費	36,000	42,000	△ 6,000
賛助会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	4,212,114	10,494,400	△ 6,282,286
受取民間助成金	0	0	0
受取民間助成金振替額	4,212,114	10,494,400	△ 6,282,286
受取寄付金	7,564,000	7,385,600	178,400
受取寄付金	7,564,000	7,385,600	178,400
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	11,812,114	17,932,000	△ 6,119,886
(2) 経常費用			
事業費	10,325,714	17,017,280	△ 6,691,566
役員報酬	0	0	0
給料手当	500,000	2,900,000	△ 2,400,000
旅費交通費	0	0	0
運搬費	0	800,000	388,000
燃料費	600,000	333,000	267,000
備品購入費	0	0	0
備品費	220,000	2,120,000	△ 1,900,000
消耗品費	2,100,000	4,000,000	△ 1,900,000
新聞図書費	33,000	33,000	0
印刷製本費	140,000	40,000	100,000
会場使用料	103,000	103,000	0
修繕費	143,914	865,000	△ 721,086
水道光熱費	990,000	490,000	500,000
業務委託費	2,500,000	1,800,000	700,000
減価償却費	315,000	315,000	0
地代家賃	550,800	2,900,000	△ 2,349,200
保険料	780,000	443,000	337,000
通信費	480,000	247,280	232,720
雑費	70,000	40,000	30,000
管理費	1,030,400	911,720	118,680
役員報酬	0	0	0
賃金	0	0	0
備品費	30,000	30,000	0
消耗品費	20,000	40,000	△ 20,000
修繕費	0	0	0
水道光熱費	10,000	10,000	0
業務委託費	400,000	400,000	0
減価償却費	35,000	35,000	0
地代家賃	224,400	100,000	124,400
保険料	40,000	42,000	△ 2,000
支払手数料	69,000	69,000	0
通信費	50,000	33,720	16,280
租税公課	133,000	133,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
雑費	9,000	9,000	0
経常費用計	11,356,114	17,929,000	△ 6,572,886

収支予算書
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	456,000	3,000	453,000
基本財産評価損益等	0		0
特定資産評価損益等	0		0
投資有価証券評価損益等	0		0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	456,000	3,000	453,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	456,000	3,000	453,000
一般正味財産期首残高	1,164,008	1,164,008	0
一般正味財産期末残高	1,620,008	1,167,008	453,000
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取寄付金	0	3,200,000	△ 3,200,000
特定費用準備資金	11,430,000		
一般正味財産への振替額	△ 4,212,114	△ 10,494,400	6,282,286
当期指定正味財産増減額	7,217,886	△ 7,294,400	14,512,286
指定正味財産期首残高	20,058,800	20,058,800	0
指定正味財産期末残高	27,276,686	12,764,400	14,512,286
III 正味財産期末残高	28,896,694	13,931,408	14,965,286

事業 年度	自	令和5年4月1日	法人コード	A025228
	至	令和6年3月31日	法人名	公益社団法人東京子ども子育て応援団

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1)資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	使途
			円	
			円	

(2)設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		あり		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
公	1	B 1 改修	6, 080, 000 円	寄附金及び民間助成金
公	1	冷蔵室冷凍室	2, 200, 000 円	民間助成金
公	1	加工室備品	1, 200, 000 円	寄附金
管	1	B 1 改修	1, 950, 000 円	民間助成金
			円	